

高齢者虐待防止のための気づきチェックリスト

高齢者氏名	記載日
-------	-----

高齢者虐待が疑われる場合の「サイン」として以下のものがあります。複数のものにあてはまると、疑いの度合いはより濃くなっていきますが、これらはあくまで例示です。

様々なサインを捉え、なぜチェックがついているのか、その背景をアセスメントしたうえで、高齢者や養護者への支援を考えていきましょう。

- 1 サインで当てはまるものがあれば、チェック欄に「○」を付け、具体的な状況を記入してください。
- 2 「○」があれば、自分一人ではなく、同僚や上司等、複数の目で確認してください。
- 3 複数の「○」があり、高齢者虐待が疑われる場合は、区健康長寿課や高齢者がお住まいの地域を担当する地域包括支援センターへご相談ください。

高齢者からのサイン

高齢者の様子	サイン	チェック	具体的な状況 (程度、いつから等)
態度や表情	おびえた表情や、体を委縮させている。		
	急に不安がったり、急な態度の変化がある。		
	家族のいる場合、いない場合で態度が異なる。		
	無気力な表情、無表情や投げやりな態度である。		
	かきむしり、噛み付き、ゆすり、自傷行為などがみられる。 (疾患によるものを除く)		
	人目を避けたがるようになる。 不自然な空腹を訴えたり、他の所ではガツガツ食べる。		
身体の状況	身体的にあざや傷がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・説明のつかない転倒や小さな傷が頻繁にみられる。 ・大腿の内側や上腕部の内側、背中等の痛みやみみずばれがある。 ・回復状態がさまざまな段階の傷・あざや、骨折がある。 ・臀部や手のひら、背中等に火傷跡がある。 ・生殖器等の傷、出血、かゆみの訴えがある。 		
	衣服・身体の清潔さが保たれていない。 <ul style="list-style-type: none"> ・身体の異臭、汚れのひどい髪、のび放題の爪 ・汚れたままの服や、濡れたままの下着を身につけている。 		
	やせが目立ったり、急な体重の減少、拒食や過食による不自然な体重の増減がある。		
	不眠や不規則な睡眠（悪夢、眠ることへの恐怖、過度の睡眠等）の訴えがある。		
話の内容	「怖い」「痛い」「怒られる」「家にいたくない」「殴られる」といった発言がある。		
	話す内容が変化し、つじつまが合わない。(疾患によるものを除く)		
	何を求めても説明しようとしてせず、隠そうとする。		
	「お金を渡されていない」「お金を取られた」「年金が入ってこない」「貯金がなくなった」などの発言があったり、年金通帳・預金通帳がない。		
	自分を否定的に話す。		
	「ホームに入りたい」「死にたい」などの発言がある。 新たなサービスは拒否する等、援助を受けたがらない。		
行為の自由度	自由に外出したり、家族以外の人と話すことができない。		

養護者からのサイン

養護者の態度	サイン	チェック	具体的な状況 (程度、いつから等)
高齢者に対する態度	冷淡、横柄、無関心、支配的、攻撃的、拒否的		
高齢者への話の内容	「早く死んでしまえ」など否定的な発言がある。		
	コミュニケーションをとろうとしない。		
関係者に対する態度	援助の専門家と会うのを避けたり話したがらないなど、拒否的である。また、本人に合わせなかったり、本人の部屋を見せない。		
	専門家に責任転嫁をする。		
	他人の助言を聞き入れず、不適切な介護方法へのこだわりがある。		
適切な医療や介護、サービス等の提供	経済的に余裕があるように見えるのに、高齢者に対してお金をかけようとしていない。 〔・資産と日常生活の大きな落差 ・サービス利用負担や生活費が払えていない〕		
	住環境が不適切である。 〔・極端に乱雑であったり、床がベタベタした感じがする、汚れたままのシーツ等、極めて非衛生的であったり、異臭がする。 ・暖房の欠如〕		
	菓子パンのみの食事など、適度な食事が準備されていなかったり、食べるものにも困っている。		
	高齢者の健康や疾患に関心がなく、医療機関への受信や入院の勧めを拒否したり、受信した気配がない。		
	介護サービスが必要であるが、勧めても無視あるいは拒否し、極端に不足していたり、未利用である。		

地域からのサイン

サイン	チェック	具体的な状況 (程度、いつから等)
自宅から、高齢者や介護者・家族のどなり声や悲鳴・うめき声、物が投げられる音が聞こえる。		
庭や家屋の手入れがされていない、または放置の様相（草が生い茂る、壁のペンキがはげている、ゴミが捨てられている）を示している。		
室内や住居の外にゴミがある、異臭がしたり、虫がわいている状態である。		
高齢者が、気候や天気が悪くても長時間外にいる姿がしばしばみられる。		
高齢者が道路に座り込んでいたり、徘徊している姿がみられる。		
家族と同居している高齢者が、コンビニやスーパー等で、一人分のお弁当等を頻繁に買っている。		
ものごとや自分の周囲に関して、極度に無関心になり、何を聞いても「いいよ、いいよ」と言って遠慮をし、あきらめの態度がみられる。		
近所付き合いがなく、訪問しても高齢者に会えない、または嫌がられている。		
郵便受けや玄関先等が、1週間前の手紙や郵便で一杯になっていたり、電気メーターがまわっていない。		
電気、ガス、水道が止められていたり、新聞、テレビの受信料、家賃等の支払いを滞納している。		

《その他の気づき》